

# 「学園都市づくり交流会議」 だより

このたび、東広島市が市内の大学や各種団体に呼び掛け、市民と大学の交流の場として「学園都市づくり交流会議」を発足させた。

本学の統合移転も、残り2年で完了し、完了時には西条キャンパスで約1万3000人の学生が学ぶことになる。賀茂学園都市の中核として、また地域に開かれた大学として、学術・研究の場を提供すると共に、東広島市民に愛される大学づくりを目指さなければならない。

これから、交流事業の具体的な実行段階になるが、本学は賀茂学園都市の発展のため、教育・文化・スポーツ活動等交流事業の展開に、全学をあげて協力する必要がある。教職員・学生の皆さんの積極的な協力と参加を切望する。

去る2月19日に開催された発足式には市側からは市長をはじめ、市の関係者、商工会議所等の各種団体、大学側からは広島大学・近畿大学工学部が出席し、その中で主だった代表者からそれぞれこの交流会議への期待を込めた挨拶があり、ここに掲載する。



## 広島大学長 田中隆 莊

本日ここに、学園都市づくり交流会議が発足いたしますことは、私共の多年の念願が実現したものであり、広島市長をはじめ関係者各位に対して、衷心より御礼申し上げます。

広島大学は、これまで長い間地域との交流を大切にして参りました。広島大学の前身校であります広島高等師範学校や広島高等工業学校では、市民に学校を公開したり、地域の教育や工業に対して援助した実績を持っています。戦後、新制の総合大学として生まれかわったのちも、地域性と国際性の尊重を二大目標に掲げました。地元の運動にこたえて第二部（夜間部）を開設しましたし、今日では、公開講座やリカレント教育事業など、全国のモデル大学となっております。

総合科学部の移転完了を目前にひかえ、広島大学は専門の深化と総合化の

二つの能力を併せ持つ、地方の拠点大学としての大学改革

を進めております。大学の研究成果は、いつでも地域に公開いたしますし、地域の希望があれば研究協力もいたします。

移転が完了すれば、多数の留学生をその中に含む、およそ一万三千人の学生がこの地で学ぶこととなります。学生および教職員が東広島市の市民の皆さんに愛されるよう、草の根の交流も深めたいと考えます。

この交流会議の発足が、学術研究の公開と市民交流の推進に、また活力と住みたくなる学園都市づくりに向けての、新たな第一歩となりますことを期待いたします。



## 東広島市長 讚岐 照夫

御承知のように賀茂学園都市の建設は昭和四十八年広島大学の統合移転決定以来、今年で二十年目を迎えます。

昭和五十七年の工学部をはじめ



## 近畿大学工学部長 富田 豊

ここ東広島市の高屋町杵原の地に新学舎をひらいて二年になります。学園のシンボルである梅の花にちなんで、うめの辺と命名しました。

この間、工業化学科と建築学科を移転、ひきつづいて先端技術系の学科、電子情報工学科と機械システム工学科の新設を申請、昨年四月から発足しております。また、来年四月から大学院を開設すべく準備中です。

一方、スポーツゾーンの施設・整備もただ今進行中です。準備が整い次第、

とする広島大学の統合移転は平成七年の移転完了に向け現在総合科学部の移転が行われています。また近畿大学工学部も現在の四学科から来春には大学院が設置されると聞いております。

本市の都市づくりも高速交通網をはじめ都市基盤の整備、教育・文化施設等の整備が進み、学園都市としての基盤は整いつつありますので今後はハード面とソフト面の調和したまちづくりが一層必要であると考えます。

特に大学と地域があらゆる交流を通じて、人と人との融和に向けて、お互いに協力し合い、活力と潤いのある魅力あるまちづくりをすることが必要である



順次に、出来るだけ早く、わが学園のもつ知的・物的資源を、地域のために役立てるべく心掛けたいと思っております。

大学として地域社会にどのような貢献ができるのか！生涯学習への貢献は大きな柱になると思います。その生涯学習への貢献も、公民館活動の一環としての生涯学習から、社会人一般あ



るいは社会人技術者に対するリフレックス教育への貢献にいたるまでの、かなりの幅広さをもっております。本学本来の教育研究活動の使命は、

十分に果たしながらも、東広島市民ならびにこの地域周辺のみならず、貢献できるような考えていきたいと思っております。

## 東広島商工会議所副会頭 石井 泰行

この度、市ご当局のお世話により、「学園都市づくり交流会議」が発足し、大学と地域との交流を図るうえで、母体ともいえる組織が出来ましたことは、誠に意義深いことと存じます。

地元産業界を代表する団体としての商工会議所と致しましては、交流会の発足を心より歓迎し、その一員として、出来得る限りのご協力をして参る所存です。

商工会議所と致しましては、広島大学、近畿大学両校の当市への新たな立地による直接の効果、即ち人口の社会的増加による活性化、及び技術的開発力に代表される頭脳集団としての能力に期待するものであります。また、大学ご当局が、開かれた大学を目指して、市民各位を対象とした数々の公開講座を開設して戴いていること、及び毎年十月に開催される「酒まつり」において広島大学、近畿大学の学生諸氏に実行委員会のメンバーとしてご協力を賜

わっていることにたいし、心より感謝申し上げます。ご次第で

また我々と致しましては、大学のもっとおられる多面性にも強く期待するものであります。

即ち、国立総合大学、有名私立大学、及び従来より立地されている文化の薫り溢れる音楽大学を擁する市としてイメージが大きく向上し、市民の誇りとなり得ること、又学生諸氏という若い方々が増えることにより町の活性化に資すること、大学を軸とした公共交通網の整備による相乗的経済効果、諸外国からの留学生の滞在による国際性の増加等々であります。

以上のような多面的影響が、東広島市の総合的な経済発展に資することは、非常に大きいものがあり、大学と行政



## 学園都市づくり交流会議設置要項

### (目的及び設置)

第一条 大学と地域との交流を通じて、相互理解と親睦を深め、大学の地域への定着を促進し、文化の薫り高い賀茂学園都市づくりに寄与するため、学園都市づくり交流会議(以下「交流会議」という。)を置く。

### (事業)

第二条 交流会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 街づくりの提案等に関すること。
- (2) 講演会、シンポジウム等の開催に関すること。
- (3) 人材及び情報交流に関すること。
- (4) 教育、芸術及び文化活動に関すること。
- (5) スポーツ及びレクリエーション活動に関すること。
- (6) その他交流会議の目的を達成するため必要な交流事業。

### (幹部会)

第三条 交流会議に前条各号に掲げる事業については基本方針の審議及び決定を行うため、幹部会を置く。

第四条 幹部会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 広島大学の学長、事務局長及び学生部長
- (2) 近畿大学工学部の学部長及び学部長
- (3) 東広島市の市長、助役及び企画管理部長
- (4) 東広島商工会議所会頭
- (5) 東広島青年会議所理事長
- (6) 東広島女性会議

第五条 幹部会に、議長を置く。

第六条 議長は、構成員の互選による。

二 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名した者が、その職務を行う。

第七条 幹部会は、必要があるときは、構成員以外の者に出席を要請することができる。

及び地元諸団体が、当交流会議を通じて手を取り合っており、お互いに理解を深め合いながら地域発展のためにより一層努力して行く必要があると存じます。

然し乍ら、地元経済界の現状は、外から与えられた新しい需要に、充分に対応し、大学関係各位に満足していただけのサービスを提供しているとは言いたいがたいのが現状です。商店街を例にとりましても、広島市の規模にはなり得ないのは当然としても、量及び質の充実が不足しているのは明瞭であります。

このような、以前よりご指摘のありました学生諸氏の利便施設の充実について、産業界としてできるところは改善実施し、無理なところについては行政及び諸団体のご協力を得て推進して参ることも必要と存じます。

名実ともに学園都市として内外から評価を受けるためには、「大学」と「地元」というようなとらえ方をしているうちは、まだまだ難しいのではないのでしょうか。

東広島青年会議所理事長 正化利行

私達、青年会議所メンバーは、昨年「まちづくりシンポジウム」において、学園都市づくりに



「地元」の中に大学もあり、街もあり、緑の風景もありというように、大学が地元の中に完全に溶け込むことが必要であり、時間がかかるとは存じますが、そのための努力を、みんなで行かなければならないと存じます。そのためには、大学の先生、職員、学生の方々と地元住民とが日常的に関係を深め、お互いに尊敬しあい、開かれた大学のみならず、開かれた地元を作っていくことが肝要かと存じます。テクノポリスの指定、国立醸造試験所の進出、新空港の開設、高速交通網の整備、二大学の新たな進出等々、恵まれた環境の中で発展を続ける当市ではありますが、このまちに暮らすすべての人々が心から誇りをもてる郷土を創造するため、地元産業界としても、大学のお知恵を拝借しながら、ただ今申し上げたような観点から、最大限のお手伝いをするをお伝えして、学園都市づくり交流会議の発足にあたり、ご挨拶とさせていただきます。

(幹事会)

第八条 交流会議に第二号各号に掲げる事業について具体的事業の立案、実施、調整等を行うため、幹事会を置く。

第九条 幹事会は、次に掲げる機関等を代表する者で組織する。

- (1) 広島大学
- (2) 近畿大学工学部
- (3) 東広島市
- (4) 東広島市教育文化振興事業団
- (5) 東広島商工会議所
- (6) JA東広島
- (7) 東広島青年会議所
- (8) 東広島女性会議
- (9) 東広島市体育協会
- (10) 東広島市文化協会
- (11) その他幹事部会が必要と認められた機関等

二 幹事は、議長が委嘱する。

第十条 幹事会に代表幹事を置く。

二 代表幹事は、幹事のうちから議長が指名する。

第十一条 代表幹事は、幹事会を招集する。

二 代表幹事に事故があるときは、代表幹事があらかじめ指名する者がその職務を行う。

第十二条 第七条の規定は、幹事会に準用する。

(実行委員会)

第十三条 交流会議は、第二号各号に掲げる事業について必要に応じて、実行委員会を置くことができる。

二 実行委員会は、幹事会の推薦により、議長が委嘱する。

(実務)

第十四条 交流会議の事務は東広島市企画管理部企画課において処理する。

(雑則)

第十五条 この要項に定めるもののほか、交流会議の運営等に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要項は、平成五年二月十九日から施行する。



て考える機会を得ました。  
 その中で、大学の存在と魅力について、あらためて認識し、それと同時に、大学と地域の交流組織の必要性を認識致しました。

その様な時に、この交流会議が発足されると言うことは大変喜ばしいと共に、期待をしております。

本市は目ざましい発展をとげつつある大変魅力のあるまちだと思います。その魅力の中でも、とりわけ、幅広い、しかも高度な知識や経験を持った人々、青春の一時期をこの地で過ごす学生や

留学生を含めた、数多くの人材との交流が出来るチャンスがあるということ、は、このうえない魅力だと思います。

今後、この会議から、いろいろな事業が展開され、その交流の中から、新しい地域の文化が育まれることを大いに期待をしております。

そして、将来「そこに行けば、友がいる、街のいろいろな情報がある」といったサロンが生まれ、東広島発の情報が世界にひろまって行くことを希望しています。

## 東広島女性会議 應原 千代子



「学園都市づくり交流会議」の発足に当り一言ご挨拶申し上げます。  
 去る二月十六日の中国新聞紙上に東広島市の新年度予算案が発表され「緊縮の中での学園都市づくりに投資」の文字に二年後の広島大学移転完了をひかえ讃岐市長さんのもとで学園都市づくりが着々と進められているご努力がうかがえます。この様な大切な時期に私達市民も役に立てる様努力が必要だと思えます。昨年十月に発足しました女性会議は市内二十数団体の女性組織によって結成され行政の指導のもとで

活動を進めております。  
 サンスクエアの中のエスポールでは毎日電話の悩み事相談を受け付けております。外国人留学生も含め学生さんや地域の方々のご相談の中から、異文化を共有し、知識を深めて行くという共存共栄の道も探り出せるのではないのでしょうか。  
 学園都市づくりには行政の様々な工夫と計画が進められておりますが、よ

り多くの公園や文化施設の充実が望まれております。私は失われて行く緑や、次々と建設されるあのアパート群にも心が痛みます。

又、今一つは十年来国際ソロプチミストという世界最大の女性奉仕団体に属して奉仕活動に協力しておりますが、この中にSクラブ、Σソサエティという、高校生、大学生の奉仕クラブを設立、促進する委員会があります。Σはサービス(奉仕)の頭文字です。自分が自分以外の人の為に、また自分の住んでいる町や国や学校の為に役に立ちたいと思う気持ちは誰でも持っていると思います。又、持つてほしいと願

## 広島県企画振興部長 小林 満



学園都市づくり交流会議が発足されるに当り、一言ごあいさつを申し上げます。  
 昭和四十九年に賀茂学園都市建設基本構想が策定されて以来、広島大学の統合移転を核とし、東広島市の豊かな自然環境を活かした学園都市建設が着々と続けられて参りました。

この間、昭和五十七年の広島大学工学部移転、昭和六十三年の広島大学生物生産学部移転あるいは平成三年の近畿大学工学部移転など学園都市づくりが着実に進展し今日に至っておりますことは、大学御当局、あるいは東広島市を始めとします地元関係者の御尽力の賜物と、心から敬意を表するものであります。  
 東広島市は、広島・備後・備北の三地域を結び付ける県の中心的位置にあ

います。  
 奉仕とはその気持ちを行動に移す事です。この様な同じ志を持つ学生を学校当局との連携のもとに、その活動を共にし、又、資金の援助も行うものです。学生時代に奉仕の体験をした学生さんはそれぞれの地域社会で、その経験を發揮して下さると信じます。高齢化して行く日本の将来に夢のある社会を築く底力となつて下さる事でしょう。学校と地域の発展と女性自身の向上の為に努力して参る所存でございます。  
 学園都市づくり交流会議が実りある会になります様祈念致しましてご挨拶と致します。

りますとともに、山陽新幹線・山陽自動車道・本年開港予定の新広島空港の高速交通三機関を備える理想的な位置条件を有しております。

これらのポテンシャルと、高等教育機関の集積を活かした学術・技術・試験研究等の拠点として、昭和五十九年には「テクノポリス地域」の指定、平成二年には「頭脳立地法の集積促進地域」の指定など、県としても国と連携して各種の大型プロジェクトを展開し、東広島市の都市建設に全力を投入して参りました。

現在、研究・工業・住宅等、各種都市機能の受け皿づくりは相当程度に進展し、今や東広島市は都市として成熟期を迎えようとしております。

従いまして、今後は、各種都市基盤整備や新規開発プロジェクトなどのハード面での都市づくりと合わせて、国内外あるいは地域内での交流促進など、ソフト面での取り組みが重要性を増すものと考えられます。

どうか、本日の学園都市づくり交流会議の発足を契機とし、大学が真に地域に開かれた学術・研究・技術・交流等の場としてその機能を発揮しますとともに、大学・市・市民が一体となって、文化と人を大切にする学園都市として東広島市が益々発展されることを祈念いたしまして御挨拶いたします。

## 評 議 会 だ よ り

### 臨時評議会

平成五年二月十八日(木)

#### (報告)

学長予定者選挙の開票結果について  
金丸選挙管理委員会議長から次のとおり報告があった。

(1) 二月十七日の開票結果について  
得票数上位二名(五十音順)

天 野 實  
原 田 康 夫

(2) 二月十八日の開票結果について  
有権者総数 一、五八三名  
投票総数 一、三六九票  
無効投票数 二三票  
有効投票数 一、三四六票

当選者  
原 田 康 夫 八〇四票  
次点者  
天 野 實 五四二票

(議事)  
一 学長予定者の決定について  
田中学長より提案及び説明があり、  
広島大学長選考規程第十四条及び第十五条により原田康夫氏を次期学長  
予定者として決定した。

二 開票結果の公示(案)について  
田中学長より提案及び説明があり、  
別紙原案の形式で公示することを決定した。

第四五四回評議会  
平成五年三月九日(火)

(部局長候補者の選考結果について)  
理学部長 西川恭治(再任)  
原爆放射能医学研究所長 藏本 淳(再任)

(教員選考報告)  
留學生センター 講師 田村泰男  
(日本語・日本事情担当)

理学部 講師 佐伯 修(位相数学)  
歯学部附属病院 講師 安井良一(第二口腔外科)  
以上の報告があった。

(報告)  
広島大学大学院問題検討委員会要項の廃止について  
田中学長から、任務終了に伴い、二

月三日付けて廃止した旨、報告があった。

(議事)  
一 評議会の自己点検・評価の実施について  
原案のとおり、自己点検・評価委員会に提出することを承認した。  
なお、自己点検・評価委員会から、再度修正等の要請があった場合の取扱いについては、学長及び報告書作成担当評議員に一任することとした。

二 広島大学教養的教育検討委員会規程の制定について  
各局局で検討の上、次回開催の定例評議会に諮ることとした。

三 広島大学学生交流規程の改正について  
各局局で検討の上、次回開催の定例評議会に諮ることとした。

四 広島大学放射線障害予防規程の改正について  
原案のとおり承認した。

五 広島大学既修得単位等の認定に關する細則の制定について  
各局局で検討の上、次回開催の定例評議会に諮ることとした。

二 開票結果の公示(案)について  
田中学長より提案及び説明があり、  
別紙原案の形式で公示することを決定した。

二 開票結果の公示(案)について  
田中学長より提案及び説明があり、  
別紙原案の形式で公示することを決定した。